

これまでのご支援に対する感謝と引き続きのご協力のお願い

いよいよ、選挙戦も始まり、それぞれにご奮闘のことと存じます。

今回の県知事選におきましては、「たいらゆきお」を物心両面でご支援いただき、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

さて、知事選におきましては、全国でただ一つ稼動している川内原発が争点だとして、私たちは政治団体「とめよう原発！かごしまの会」を結成し、さまざまな検討を積み重ね、4月に入ってから「たいらゆきお」を知事候補として擁立の準備を進めてまいりました。原発だけでなく、TPP・安保法制・知事退職金の4つのNOを掲げて、県民目線の知事候補として広く県政の政策を提言していました。

その中で、知事選が三つ巴になれば、伊藤知事の続投を許してしまうのではという声が日増しに多くよせられ、私たち「とめよう原発！かごしまの会」は、「たいらゆきお」の政策実現と、その声にいかに応えるべきかと苦悩いたしました。そして5月末に、三反園訓氏との「一本化」を打診しましたが、不調に終わりました。

その後、近づく告示に向けて様々な準備を整えてきました。当然に膨大な経費もかかっていました。ところが告示10日前になって、三反園氏側から一本化の打診がよせられました。その中で原発政策に踏み込んだ考えが示されたのです。本気で原発廃炉を訴えてきた「たいらゆきお」と支援者の方々の熱意、さらには伊藤県政を終わらせたいという県民の声が、三反園訓氏をここまで歩み寄らせることになったと受け止めています。急きょ協議を集中して行い「政策合意文書」の合意と、6月17日の共同記者会見となった次第です。そして今回、原発停止・廃炉などを含む知事候補として三反園訓氏への「一本化」が実現しました。

当初、三反園氏は公式の文書では原発について触れていませんでしたが、「政策合意文書」の中で、「停止」を要請する立場を明らかにされたこと、恒久的な「原子力問題検討委員会（仮称）」を設置すること、農業や医療福祉、教育などの課題についても、触れるものになっていることなどから、私たちは、原発政策を含めての政策実現可能なぎりぎりの判断をし、三反園訓氏に託すことにいたしました。

私たちは、平良行雄知事の実現で「川内原発を止めて、そのまま廃炉」をめざし、全国に選挙資金の協力を呼び掛けてきましたが、立候補を取り下げたことにより資金調達のめども立たなくなりました。しかし、新知事に対して政策合意を確実に履行させるためにも「とめよう原発！かごしまの会」を継続することが必要と考えています。

そこで、お願いがあります。

「一本化」が実現し、原発をストップさせる知事を誕生させる可能性が格段に高まったことを最大限ご評価いただき、これまでの選挙準備にかかった経費及び今後の会の運営に対して金銭的に支えていただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

ぜひ、まわりの皆様にも、お声をかけていただければ幸いです。郵便局の振替用紙を同封させていただきます。どうぞ、お力添えをいただきますよう、心からお願い申し上げます。

2016年 6月21日

「とめよう原発！かごしまの会」
代表 平良 行雄